



異学年の自由

令和5年7月12日発行

妙高市立新井南小学校

たより 特別号1

Q: 自ら学ぶの意欲や  
意識を高めるには?  
自分なことの進歩に  
気があるようになる

Q: 中学にあつた  
時の# 接続は?  
妙高の中もやばう取り  
入れられる

中学の先生と  
小学校先生の  
違い

Q: ほつちがこれれる  
自分で選べる  
自分の  
選択

〈なぜイエナがいい? 堅い?〉

イエナプランのよさを  
2023.7.5  
長くなること

Q: 負けFCとい  
と1個の難バツは?  
モチベーション  
世の中は競争はある...

Q: 地元イエナ  
今の学習の仕方  
人はどうなってるか  
あんなにイエナ  
なれるている

各授業ではなく  
協同学習  
実践していた

自信を  
経験がない

Q: やれる地  
身がつかない  
大丈夫...?

学年だけで  
かたおこす

Q: 自分なことを  
伸ばすには?  
大人の評価により  
嫌いや苦手を減らす

みんなやしい  
異学年だから  
お点がある

4年  
3年生20  
経験できる

学年を超えて  
学習できる

他の学年の子  
も見える

自由性  
やる気や調子があつた  
ととりかへできる

自己責任  
↓  
自己実現

自分で  
決める学習

楽しく学習  
できている  
学校生活は  
のびのびやれる

1人1りの子を  
見られる  
3つとも  
のびのびやれる!

先に見通せる子を育てる

長い目で  
できるように  
なつて見える

### ◆妙高型イエナプラン教育(移行期)の軌跡 其の三◆

7月5日(水)、「明日の南小をつくる会」を開催。

「明日の南小をつくる会」の趣旨は、保護者や地域の方々、学校職員と共に、よりよい学校づくりを目指すことです。今回は、保護者の方から、「ぜひ、私たちも一緒にやれたら…」との有難いお言葉をいただき、事前に対話のテーマを検討していただきました。急なご案内にもかかわらず、ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

当日は、4つのテーマでワークショップ(対話)が行われ、以下のとおり保護者や地域の方々から貴重なご意見等をいただきました。ご多用の中、多くの皆様からご参加いただき、ありがとうございました。

#### 1 子どものメディアとのかかわり方

○ゲームやTikTok、学習動画やAIドリル、料理や工作の制作動画など、子どもたちの生活と電子メディアは切り離せないものになっている。

○今までの2時間以内などと制限するのではなく、賢い使用者となるべく、「目を休める」「寝る時間の1時間前にはやめる」など、親も学校も指導したい。

## 2 家庭学習の様子

- 家庭学習に意欲的に進んで取り組んでほしいと願っている。実態としては、漢字をただノートに書くだけで覚えていなかったり、自分の好きな学習だけを選んで取り組み偏りがあったりしている。
- 学力をつけるためにも苦行は必要であるが、幅広く課題を選択し、学校でも発表の場等があると意欲につながるのではないか。
- 保護者も今学校で学習している内容を把握したり、一緒に寄り添って学習したりするために、教科書を持ち帰ってほしい。

## 3 イエナプランのメリット、デメリット

- 一人一人をちゃんと見守って、それぞれにあった教育ができる。
- 異学年で交流することで、協力したり、助け合ったりできる。
- イエナプランの勉強会がしたい。
  - ▲子どもの意欲の維持が、大変ではないか。
  - ▲学習ができているように見えても、身に付いているか不安である。
  - ▲中学校への接続が心配である。



## 4 PTA活動を楽しくするには

- 保護者同士のつながりを強くしたい。

子どもの学年が異なる保護者間、また、学区外から入学・転入した保護者と学区内の保護者間で互いの顔や名前を知らない方がおられる。保護者同士の仲を深めるためにも、関係づくりを目的とした会合があるとよい。

- 「やりたい」事業を創造したい。

「例年やっているから」との理由で、目的意識の薄い活動を「やらされ」ている感じをもっている。これまでの活動を一旦、リセットして、子どものためになる活動や保護者の教養を深める活動を自分たち自身で提案・実行する仕組みづくりができるとよい。

- ◆今後、対話の内容を踏まえた具体的な方策等について検討していきます。

「一人の百歩よりも百人の一步」です。

